お姉ちゃん+
R18
あだるとおんりぃ
怪盗紳士団

夏のあの日の事
今でも鮮明に
覚えてる
おばあちゃんの
家がある田舎

友達もいなく
時間を持て余して
いた

そんな少年に
優しく声を
かけてくれた

青空を背にした
女の子

キラ
キラ

キラキラと
輝いていて
目が離せな
かった

ドキ
ドキ
ドキ

あの時の俺には
世界一のアイドル
そう思えたんだ

親愛度10達成後

やはり莉波お姉ちゃんはトップアイドルの才能がある

誰だここまで才能を見いだせなかったヤツらは！

やはり俺じゃないと！

ぐっ

あっ

プロデューサーくん

えっちしよっか♥

ぽんっ！

は!?

なっ！

アイドルは冗談でもそんな事を言っては…

冗談じゃないよ？

更にダメです！

う～ん…

？

ん～

わっ
ポッ
そっかそっか～
照れてるんだね
前みたいに
ドキッ

な…なんだ
この感覚
はっ…
記憶…？

あの時の
バス停の裏？
知らないぞ
この記憶
知らない？
いや…
これは
間違いなく
俺だ…
記憶に無い
俺？

あの時…こんな事を

くいっ

綺麗…だ

…ん？胸…こんなに大きかったか？

くにゅ…ん

今まで無かっただけでコレは俺だ

あっ

はぁ

そうか…

俺達は…あの時すでに

はぁ

はぁ

はぁ

すでに深い仲だったんだ

ドロロ…

そう…これはどっちも俺だ

俺の記憶！

と…とにかくっ

そういう事はダメです

俺はプロデューサーなので

そう…少なくとも今…は…

なっ！

ガシッ

そっかそっか～分かったよ

久しぶりだから照れてるんだね

なっ…なんだ!?

この細腕から信じられない力…

コレが…アイドルの腕力…

大丈夫♥

ふふ～

お姉ちゃんにまかせて！

ひ…
姫崎さん!?

それじゃ
お部屋行こっか♥

ぐいっ!

わぁ…

成長…したね…

は…はい

ふふっ
お姉ちゃん
嬉しいよ♥

ラグラ…

さ…逆らえない…

コレが…お姉ちゃん力…

元気だね～

お姉ちゃん嬉しいよ

すり

すり

あ…あのあまりそう触ると…

くに

くに

ん～ああ…

そっかそっか～このままじゃ…だね

ゴメンね♥

あく

ちゅぬぬ…
ちょっ…
莉波…さん!?
うっ
んっ
んぷ
ちゅぷん
んっ

んぐ
ペロッ
ぴちゅっ
きみの…味…
ゴクッ…
あの時も…そうだった
するっ
じゃあ一緒に気持ちよく…なろっか
は…はい
カチ
カチ
俺の事は全て読まれてる

成長…楽しみだよ♥

ふふっ

くにくに

ラフ

して欲しい事何も言わなくとも分かっている

莉波お姉ちゃんは…

服…脱いじゃお…

ラあさー…

うん…涼しい…

ふラミ

じゃあしよっか

ふふ♥

えっち♥

ちゅく…

おっぱいに顔埋めながらするの好きだよね

たぷこん

は…はい…

ん？どうしたの

ん？

くいっ

うぐっ

いや…そのどうしたものかと…

ああ…

大丈夫
まかせて

ふふっ

ぶっ

お姉ちゃんが
気持ちよくして
あげるね

まずは
おちんちん
中に…

よ〜っと

う…ん

う…うう

くいっ

ぷく…

ぷぷぷ…

そうだ！
お姉ちゃんって
言って

言ってくれ
ないと～
このままかな～

ぢー～
ぢっ

そ…その…
お姉ちゃ…ん

ぴく

うん…

ちゅっ

んっ

ちゅっ

じゃあ…一緒に

はぁ、

気持ちよくなろうね♥

ぬちゅ…ん

ちゅっ…[redacted]

も…もう身体も…おちんちんも…こんなに

大きく…なっちゃって

ぷるぷる

んっ

んぐ

はぁ

ぷるぷる

ぴくん

たぷっ

ぴくっ

ぬちゅ

ずぐっ

完全にお姉ちゃんのペースだ

びくん
あっ
あっ
きみの…あつ…い…よ
んっ
びくん
俺…もう…
びく

あっこ
わ…凄い…
ぴゅっぴゅ～って出てる
はぁ
はぁ
いっぱい…
ぴくん
ぴくん
ぴく
ビュッ
ビュッ
ビュッ
[redacted]

ビュッ
[redacted]
ひく
ひく
ひく

ぷる
ぷる
ピュル
ひくく
あ…出るの…
止まった…かな

それじゃ2回目するね♥
はあ
はあ
はあ
ブフ
え？いや…まだ

まだまだいっぱいあるでしょ？
分かってるからね～
ふふら
ちゅく
ちゅっ
うっふん
わっちょ…
お姉ちゃ…ん!?
それそれ～

結局色々してしまった…

と…とはいえ

俺のやるべき事は変わらない

他の誰にも任せられないから

俺が莉波お姉ちゃんを

ひょこっ

ん〜？

トップアイドルにする！

あ…もしかして〜したくなっちゃったかな〜？

ふふ〜

ちっ…違います

少なくとも今は…

夏イベの限定水着
もいいけどコミュで
見れる標準のも欲しい
（モデルはあるんだし）
グラビア的にはシンプルな
こっちの方がセクシーさ
が増すと思う
とはいえ専用の
腰横がよく見えるとこも
ロマンあって良い

あとがき

はじめまして、もしくは再びどうもです。

学マス、開始前からチェックしてて願書集めに行ったりしてたけど
その時はそこそこ流行れば良いなぁ…と思ってた。
でもまさかの大流行りで正直ビックリ。
そんな訳で今描くならこっちだろう！とお姉ちゃん本です。

…と、事前にチェックはしてたものの詳細は分からず推しは迷ってました。
思った以上にだいぶ変な…ではなく個性的面々が多い。
その中で気になったのは年下のお姉ちゃんである莉波さん。

実際はちゃんと意味とそこまでの理由はあったのでコミュ見れば
おかしいけど変とも言い切れない絶妙な設定。
個人的に気に入ったのは幼馴染みである事。

自分は特にこの要素が大好物なのでお姉ちゃん担当になりました。
なお、わりと言われてるPは好意に気付かないボンクラではなく
ちゃんと理解してるしなんならガチ両思い説を考えてます。

学園3年生でアイドルとして後が無くほぼ諦めてる事から見ても
アイドル活動は今しか出来ない事はハッキリしてます。
恋人になって付き合っても後で確実にあの時アイドルやっていればと
後悔すると思う。

だからこそPはお姉ちゃんが最も輝く方向&方法でプロデュースしてる
のでは？と。
他担当を見ても有能な事が多い学マスPがただ趣味全開なわけは無い。

それはそれとして公式でもそれぞれパラレルワールドな世界っぽいので
はみ出しまくってしまった世界も見たいので描いてみました。
ああ…お姉ちゃんと一緒に帰省したい…。

…と、そんなこんなな気分で描いた莉波お姉ちゃん本、楽しんでいただけたら
嬉しいです。

カイシンシ

奥付
お姉ちゃん＋
発行：怪盗紳士団
著者：カイシンシ
発行日：2024.8.12
印刷所：ねこのしっぽ
E-Mail nadesune@gmailcom